

# かがやく

## 特集 集まれ人間の元気人!

ホップ・ステップ・ジャンプ…元気な人間でかがやいて

やったぞ! ロープジャンピング日本一!! 気持ちを一つに大縄飛び

東金子中学校 2年3組出陣繁実組 (A・Bチーム)



大活躍のA・B両チーム



●昨年開催された「生涯スポーツフェア・ロープジャンピング大会」で東金子中学校の有志二チームが日本記録に挑戦し、一位と三位を獲得しました。

●体育祭の大縄飛びに優勝して自信をつけていた二年三組は、クラスで話し合い、大会への参加を決めました。

一度でもつかえたら失格になることや得点方法、ロープの違い等の問題を一つ一つ解決して、A・Bの二チームで編成された「東金子中学校二年三組出陣繁実組」が誕生しました。

ちなみに「繁実組」は担任の佐藤繁実先生の名前の引用です。

●本番まで十日、昼休みや放課後、夜間や休日にも、学校や青少年活動センターでの練習が続けられました。みんなに疲れやケガが多くなると、佐藤先生は自分の好きなものを断って生徒たちの無事と成功を祈りました。

青森県の中学校が持つ日本記録に到達できたのは、本番前日のことでした。

●そして当日、挑戦できるのは二回、一回目は失敗でした。

いよいよ迎えた最後の挑戦、五分にも及ぶAチームの見事なジャンプは、記録を更新し、遂に日本一となったのです。

その瞬間、喜びの涙と歓声が会場を包みました。

「このクラスでよかった!力を合わせることに充実感はない。自信がついた。」と生徒。「塾を休んでの練習でしたが、貴重な体験ができてよかった。」と保護者。

「子供たちに大切なものを教えられた気がします。私の誇りです。いい思い出ができました。」と語る佐藤先生の手には、その日まで断っていた缶ビールがそつと生徒から渡されました。

Aチーム 四、九五六ポイント  
Bチーム 三、七二〇ポイント  
※得点は人数×回数  
(日本レクリエーション協会認定)





「心の躍り」を目指して…  
歳をとってはられない！  
フラに燃える伊地知静子さん

入間に住んで四十三年。十二、三年前頃からフラの魅力に取り憑かれ、本場ハワイに行くこと九回、ニューヨークのカネギーホールでは「アロハオエ」を披露しました。現在も東藤沢公民館で大人対象の「フラリリーズ」と子供対象の「フラリリーズケイキ」に囲まれて大奮闘中です。

四年前から「いるま生涯学習フェスティバル」に参加、市内のフラダンスサークルとの交流を深めてきました。それがきっかけとなり「入間市フラ連盟」をこの三月、発足することになりました。市内のフラダンスサークルが楽しく共存できるよう、アロハの心が溢れれたフラ連盟を目指します。十月一日（土）には市民会館で第一回合同発表会の開催も決まりました。

どんなにつらい事があってもいやな顔を見せず底抜けに明るい伊地知さん。今、「共に心の躍りをしましょうよ」と『明るく、楽しく、仲良く』をモットーに入間の皆さんに呼びかけています。もうすぐ八十一才、今も精力的に動き回り、ますます元気な伊地知さんです。

育てて元気・食べて健康の  
ヤーコンに情熱をかけて…

さいたまヤーコン研究会  
代表 鶴田<sup>ときた</sup> 節男<sup>ふさお</sup>さん

入間市金子で鶴田さんが栽培しているヤーコンはペルー原産、さつま芋のように見えますが、実は菊科の根菜。茎や葉も食べられる、今話題の健康野菜です。

北海道の東海大学で研究中のヤーコンに巡り会ったのがきっかけで栽培に着手しました。様々な分野で活動している鶴田さんは、ヤーコンを高齢者福祉会や、講師をしている大学の授業に取り組み成功しています。

ヤーコンにはポリフェノールやオリゴ糖が多く含まれ澱粉はゼロ。体脂肪抑制、生活習慣病予防等々、まさに二十一世紀の機能性野菜の優等生。サラダやきんぴらなど簡単にヘルシー料理が出来、生のシャキシャキ感やかすかな甘さが好評。入間のお茶屋さんでヤーコン茶も製作中。

作る喜びや健康効果などヤーコン普及を目的に会を発足。収穫祭の開催や原産地ペルーへの研修旅行など幅広く活躍中です。



会員募集中	入会金	100円
携帯		090-2429-8060
事務局	TEL	042-974-4760
	FAX	042-974-4766

入間の街歩きを楽しく…

街角ちっちゃな美術館  
総合仏具店いわさき本店



豊岡の町並みを丸広からサイオスにかけて歩いていると、思わず立ち止まってしまおうのが「お仏壇のいわさき本店」の『街角ちっちゃな美術館』。

大きな一枚ガラスのショーウィンドウに、ある時は油絵、またあるときは墨絵や立体などの作品が展示公開されています。

「仏具店のショーウィンドウだから仏壇や仏具をといてみるのではなく、お客様に楽しんでもらえてインパクトのあるものと考えています。この催しに携わって、街の周辺に随分と多くの作家さんがいらつしやることを知りました。」と店長さん。数年前からの構想が昨年「街角ちっちゃな美術館」としてやっと実現しました。個展の展示期間は約一ヵ月。いろいろなジャンルの作品を展示したいと出展者の募集も随時しています。

季節に合った作品と洒落たディスプレイの『街角ちっちゃな美術館』は入間市の街歩きを楽しませてくれます。



# 人間ごと

入間で暮らす人たちの「ふるさと人間」のアラカルト。今日のあなたの足跡が町の歴史を刻みます。



入間川

絵・佐藤 大助さん  
題字・太田 雪影さん

## 川越唐棧の再現

野田双子織を伝承する  
西村芳明さん



### ●川越唐棧の盛衰

日本の織物史上に残る川越唐棧は、細い双糸を使い製織され絹のような風合いと縦縞模様の特徴の木綿の反物です。開国後に輸入された上質の糸を使い、江戸時代末期から大正初期まで生産されましたが、粗製乱造やいろいろな経緯から消滅してしまいました。そのため現存するものは少なくなっています。

### ●復元まで

学校で染織を学んだ西村さん、戦後復員し丹前生地にんぜんぢまの製織を始めました。しかし、暖房機の普及とともに徐々に丹前の需要が少なくなり、新たな方向を探していました。

そんなとき旧友の手紙がヒントとなり唐棧の製織を思い

つきました。そのうえ翌年娘さんが結婚したことが縁で、偶然にも川越唐棧研究家の井上浩氏と出会ったのです。多くの資料やアドバイスを貰い本格的に川越唐棧の復元に取り組むことになりました。

技術も知識もあった西村さんにとつてその作業は困難なことではなかったというのですが、失敗した反物の数は約四十反にもおよびました。

### ●川越唐棧は野田双子織

入間の野田双子織は川越では、川越唐棧と呼ばれます。西村さんの川越唐棧は「川唐」の商標で川越の町に復活しました。

復元までの経緯には「人と人との縁が織り込まれている」と西村さんは語りながら、伝統の織物を守り続けています。

## 故郷のことばを訪ねて

“人間ことば”分かりますか？

昔から使われていた地域のことばには、標準語では表現できない意味や味わいがあります。

ここ入間の地域にも「べえべえ」ことばをベースにした独特のことばやことばづかいがありました。

### ●“人間ことば”の意味やニュアンス、分かりますか？

- ・ もしゃげる — くちゃくちゃにする
- ・ あんだかや — ほんとうなの
- ・ のげつてー — チクチク痛い
- ・ よどされ — 役に立たない
- ・ いまっと — もう少し
- ・ わざつと — ほんの少し
- ・ あんだんべ — なんだろう
- ・ くげん — 調子が悪い
- ・ おつぴらく — あふれる
- ・ ぐらかす — ずるをする
- ・ てんきそう — マツバボタン
- ・ かてめし — まぜごはん
- ・ ちつぷくせえ — 小さい
- ・ めーましい — 悔しい
- ・ たつぺ — 霜柱
- ・ おつぺす — 押す
- ・ とつばな — 最初
- ・ うそつきき — 嘘つき
- ・ れーむし — 鈴虫
- ・ くさばっこ — 草むら
- ・ のめつこい — 親しい
- ・ やぶべ — 行こう
- ・ こんたれる — 怒られる

### ●ことばを続けて会話にすると…

○「こんだ、おらげーこーよ。のめっこくあそんべーよ。」

(今度、家に来てよ。仲良く遊びましょう。)

○「うでつきにやったから、ことなもんでなかったよ」


(一生懸命頑張ったからむずかしくなかったよ)

時代とともにどんどん変化していることばですが、故郷のコミュニケーションを繋いできた“人間ことば”は、懐かしい響きを残しています。

※ことば集めには、多くの皆様のご協力をいただきました。

## 《見る・聞く・楽しむ・イベントガイド》まちの生涯学習イベント情報


- **やまびこ陶芸教室** (久保稲荷) ☎2922-4051 PHS・070-5456-2761 E-mail yamabiko@tba.t-com.ne.jp  
 ・「陶芸教室 1 日体験 やさしい手びねり陶芸」体験料金1,500円 (材料費・焼成費込み)  
 毎週火・水・木 午前10:00～、午後2:00～、午後6:30～の各 2 時間コース ※要問い合わせ
- **ユーホー** (東町) ☎2966-5161 (営業 金・土 午後2:00～6:00)  
 ・常設展示…布・陶芸・その他手仕事作品  
 ・3/21 (月)～25 (金) 「25周年はぎれバスケットのパッチワークキルト展」  
 会場アミーゴ 午前9:00～午後5:00 最終日午後4:00終了
- **ギャラリーこむ** (小谷田) ☎2964-2229 (営業 水～日 午前11:00～午後5:00)  
 ・常設展示…油絵・水彩画・日本画・その他ホームページでご案内しています。《www.yatuike.com》
- **古布 古道具 技利衣(ギリ)** (上藤沢) ☎2962-1170  
 (営業 毎月第 4 土曜日の前後の金・土・日 午前11:00～午後5:00)  
 ・4/23 (土)、6/25 (土)、10/22 (土) 温もりの手作り展「技利衣の会」午前10:00～午後5:00  
 ・6/6 (金)～9 日 (月) 「酒井貴代作品展 和布を着る」午前11:00～午後5:00
- **ギャラリー喫茶くらだに** (春日町) ☎2965-4630 (営業 火・水 午前11:00～午後5:00)  
 ・常設展示…陶器・漆器・パッチワーク・マジックフラワーその他手作り作品  
 ・10/12 (水)～16 (日) 「伝統工芸 江戸更紗展」
- **ぎやらりい桑田** ☎2962-4437 (営業 日・月・火・水)  
 営業時間 (10月～3月 正午12:00～午後5:00) (4月～9月 午後1:00～午後6:00)  
 ・常設展示…油絵・水彩画・日本画・陶芸・版画<個展、グループ展等随時開催>



**あなたの「学び」のお手伝い  
生涯学習情報を紹介しています!!**

いるま生涯学習ガイドブック(閲覧用)  
市主催の講座、イベント、大学の公開講座等  
**いるま学びの場**  
公民館活動サークルや市内の民間教室等

市役所(市政情報コーナー)や公民館などで配布または閲覧できます。問い合わせは生涯学習課まで  
※市の公式ホームページでも紹介しています。アドレス [www.city.iruma.saitama.jp](http://www.city.iruma.saitama.jp)



「茶の都出前講座」  
市職員がご希望の日時、場所に各種講座をお届けします。

入間市が誕生したのは、昭和四十一年十一月一日のことです。それ以前は、黒須、高倉、扇町屋、善蔵新田の各村が合併して豊岡町となり、さらに金子、宮寺、藤沢の各村と西武町の一部(旧東金子村)が合併して武蔵町となりました。その後、元狭山村の一部を編入し、後に入間市が誕生。翌年に西武町を合併して現在の入間市域になりました。

■前号の三頁「入間づくし」の文章に誤りがありました。加筆訂正し、お詫びいたします。

### 生涯学習情報誌「かがやく」ボランティア編集スタッフ募集

- 年に2回(3月・10月)発行の生涯学習情報誌「かがやく」では、編集スタッフを募集しています。
- 月2～3回の活動<企画・編集・取材等>年齢・経験は問いません。  
生涯学習課 TEL 04-2964-1111 (内線4123)

#### — 問い合わせ・連絡先 —

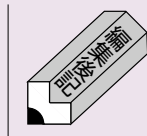
企画編集：「かがやく」編集委員会  
発行：入間市教育委員会生涯学習課



〒358-8511  
入間市豊岡 1-16-1  
TEL 04-2964-1111 (内線4123)  
FAX 04-2964-4841

して大切なのは体でしょうか。体によいことは、できるだけ取り入れて、元気を目指したいものです。

「こうなりたい」自分を助けたり、励ましてくれるのは気持ちです。やりたいことがあるなら、なおさらでしょう。心を動かしてくれるものの中から、楽しくて好きなことをみつけて、元気の素にしたいです。(池田)



元気というものがあるとしたら、まず気持ち、そして体によいものを築く。